

## 専門部会報告シート

部会名	すまい部会	報告回	令和7年度第2回全体会
委員 氏名		氏名	選出母体及び役職等
	1	◎高橋 美佳	地域生活支援センターあけぼの 所長
	2	○瀬川 彩奈	障害者支援施設みずき サービス管理責任者 マネージャー
	3	山口 真佐子	桜美林大学 特任教授
	4	中川 さゆり	地域生活支援センタープラザ 施設長
	5	星野 ちあき	グループホームこんぺいとう 管理者
	6	松田 理樹	障害当事者（発達）
	7	佐藤 真智子	障害当事者（精神）
	8	荒畑 正子	府中市精神障害者を守る家族会 理事
	9	高野 麻都	東京都立府中療育センター 地域療育支援科主任
	※部会長は◎、副部会長は○		
現状	近年、親から自立して地域で生活することのできるグループホームの必要性が広まり、市内でもグループホームは年々増加傾向にある。しかし、サービス面での質の確保や一部の障害分野に偏っている等の問題があるため、市外や遠方のグループホームや入所施設に入所しなければいけない現状がある。また、近隣のグループホームに入居したものの、十分な支援を受けることができず、他のグループホームへ転居するという事例も少なくない。		
検討 テーマ (概要)	今期1年目は障害のある人の地域生活への移行を推進するため、従来の「介護サービス包括型」と「外部サービス利用型」、新しく創設された「障害者の重度化・高齢化に対応する日中サービス支援型」の3種類のグループホームにそれぞれ求められる要素について検討し、今期2年目は当事者が自立した生活を送るうえで、地域においてどのような支援体制の整備が必要かを検討する。		
取組 経過	<b>【令和7年度の取り組み】</b> ○府中市内にあるグループホームの確認 ○グループホームに求められる要素を定義していくために、グループホーム事業所やグループホーム利用者、相談支援事業所にアンケート調査を行い、障害程度や年齢などにより生じるニーズを洗い出す。		
検討 結果	1 市内グループホームの現状について (1) 前期自立支援協議会で整理したとおり、重度心身障害者向けのグループホームが非常に少なく、偏りが生じている。 (2) 日常生活における介護支援を包括的に提供する介護サービス包括型のグループホームが多く、日中も介護支援が受けられる日中サービス支援型グループホームは現在、開設されていない。 2 グループホームに関するアンケート内容について (1) グループホーム事業者 ア 事業所情報 種別 定員・現員 性別による定員数 併設事業所の有無、空床の活用方法、		

- 地域生活支援拠点等に求められる「体験の場」としての機能の有無など
- イ 回答者
  - ウ 職員配置 職員の人数
  - エ 利用者情報
    - 年代、障害種別、受け入れ可能な障害・疾病種別、障害支援区分
  - オ 提供している支援
  - カ 必要と感じる支援で提供できない支援（自由記述）
  - キ 運営上の課題（自由記述）
- (2) グループホーム利用者
- ア 回答者
  - イ 利用者情報
    - 性別、年代、障害種別、障害支援区分
  - ウ ニーズを満たせている支援
  - エ グループホームの生活でよかったこと（自由記述）
  - オ グループホームの生活で困っていること（自由記述）
  - カ 今後のすまいについて考えていること（自由記述）
- (3) 相談支援事業所
- ア グループホーム相談件数（年代別）（過去1年間）
  - イ グループホーム入居理由（年代別）
  - ウ グループホームを希望した人数（年代別）（過去3年間）
  - エ 実際に入居できた人数（過去3年間）
  - オ 入居したグループホームの種類
  - カ 入居に至らなかった要因（自由記述）
  - キ グループホームを退去した理由（自由記述）
  - ク グループホームに思うこと、感じる事（自由記述）
- 3 今後の取り組みについて
- 今後、アンケート調査を実施し、3回目から5回目までの部会において、アンケートの調査結果の分析及びグループホームの見学の実施についても視野に入れたうえで、6回目に総括を行う予定。

会議開催状況と内容

	日程	内容
第1回	7月30日	○今年度の取り組みと部会のスケジュールの確認 ○アンケートの諮問について
第2回	9月3日	○アンケートの諮問について
第3回	11月28日	○アンケート調査結果の分析
第4回	未定	○アンケート調査結果の分析（仮）
第5回	未定	○アンケート調査結果の分析（仮）
第6回	未定	○総括